

JA 埼玉みずほ自己改革取組宣言

組合員・地域に必要とされる組織であり続けるため
JA 埼玉みずほは総合事業を展開します

私たち JA は、3つの目指す姿に向かって自己改革に取り組みます。

1. 農業者所得の増大、農業生産の拡大を通じ、持続可能な農業を実現します
2. 農業振興により地域を活性化し、豊かで暮らしやすい地域社会を実現します
3. 事業利用を通じた理解を得て、協同組合としての役割を發揮します

自己改革をやり遂げるために3つを実践します。

- ① 組合員との対話運動
- ② 自己改革工程表による進捗管理
- ③ 営農とくらしを守る総合事業の持続的展開

主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 担い手経営体への総合事業提案

訪問活動を通じて、担い手経営体のニーズを把握し、総合事業を通じて販路の開拓、設備投資による規模拡大などの挑戦をサポートします。

【令和3年度までの目標】

- ・農産物販路拡大2業者増
- ・平成30年度比販売品取扱高5%UP

2. 新規就農者対策への強化

新規就農者や親元での就農、後継者の育成と就農定着を支援するため、関係機関と協力し農業経営支援や低コスト資材および省力技術の普及をはかります。

【令和3年度までの目標】

- ・新規就農者5名増

3. 地産地消を通じた農業振興と地域の活性化

食の大切さや地域農業・JAへの理解を深めるための情報発信に努め、安全・安心な地元産農産物の魅力を伝えます。

【令和3年度までの目標】

- ・平成30年度比組合員数10%UP

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、予算額は3,200万円となっています。

- ① 水稲所得増大化への支援
- ② 水稲品質等向上対策
- ③ 専任営農渉外担当者（通称TAC）による担い手訪問活動
- ④ 組織活性化支援及び生産指導
- ⑤ 農地保全及び農地集積関連への支援
- ⑥ 農産物生産拡大対策への支援
- ⑦ 食農教育への支援